

3月31日はミミにいちばん!

オーケストラの目

第12回

2018.3.31(土)

東京文化会館

NHK交響楽団

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

藝大フィルハーモニア管弦楽団

新日本フィルハーモニー交響楽団

千葉交響楽団

東京交響楽団

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

東京都交響楽団

東京ニューシティ管弦楽団

東京フィルハーモニー交響楽団

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

日本フィルハーモニー交響楽団

読売日本交響楽団

大阪フィルハーモニー交響楽団

群馬交響楽団

静岡交響楽団

仙台フィルハーモニー管弦楽団

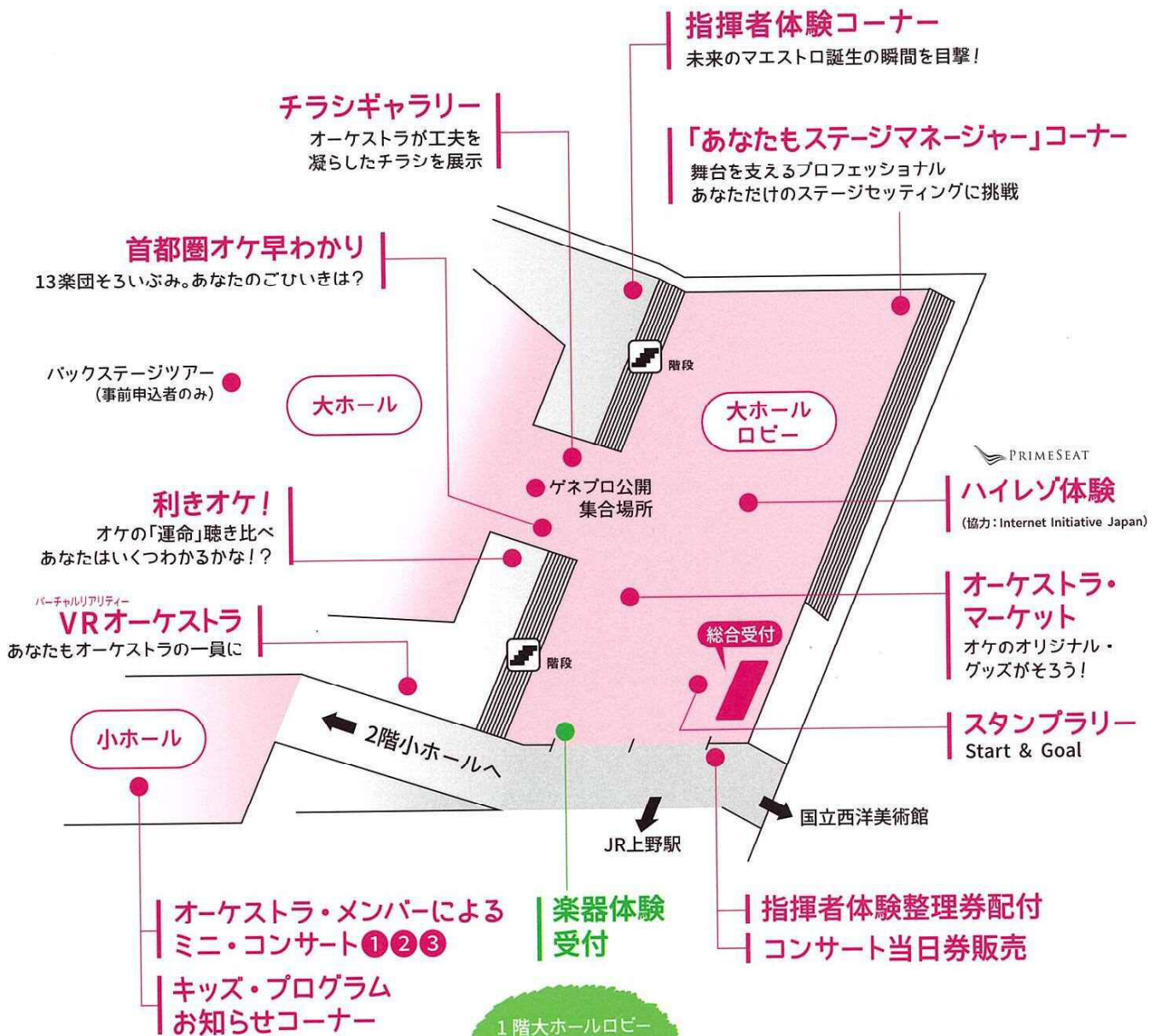
名古屋フィルハーモニー交響楽団

主催：首都圏オーケストラの日実行委員会・公益社団法人日本オーケストラ連盟、東京・春・音楽祭実行委員会

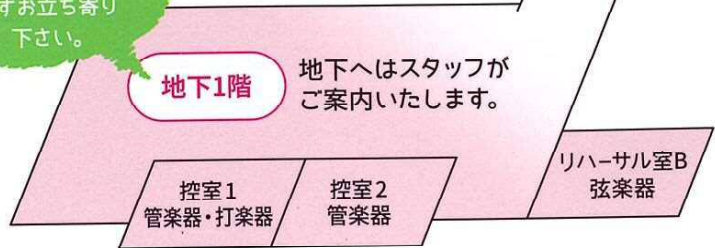
助成：公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人花王 芸術・科学財団、公益財団法人 ロームミュージックファンデーション、私的録音補償金管理協会(sarah)

協力：日本音楽財団(日本財団助成事業)

オーケストラの日 第12回



1階大ホールロビー
入口の楽器体験受付に
必ずお立ち寄り
下さい。



**音楽による心の復興支援
～募金のお願い～**

日本オーケストラ連盟では加盟のオーケストラと共に心の復興支援活動として、被災地に音楽をお届けしております。2011年より開始したこの活動は東北3県のみならず、九州地方など、地域を限らず復興のお役に立てれば、と継続的に活動しております。当活動へのご理解を賜り、募金へのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

《お願い》会場の様子を撮影し、報告書やホームページ、フェイスブックなどに掲載する場合がありますのでご了承ください。
お困りになることがございましたら、スタッフにお知らせください。

無料イベント

大ホールのロビーがオーケストラ広場に!

スタンブラリーの会場もこちらです。

11:00
オープン

ファンファーレ

曲はエルガー・ハワース作曲
「2つのプロセッショナル・ファンファーレ」です。

- トランペット 多田将太郎(東京室内管弦楽団)
小林鴻(フリー)
重井吉彦(ばんだウィンドオーケストラ)
丸山菜津紀(藝大在学)
- トロンボーン 加藤舞衣(ばんだウィンドオーケストラ)
松永遠(トロンボーンカルテット Capriccio)

14:00からのコンサート「オーケストラの日祝祭管弦楽団」にもバンドに出演します。コンサート後半、会場のどこに現れるでしょうか?!

神出鬼没の登場に
どうぞ期待!

11:00~
13:30

楽器体験

楽屋スペースが会場です! スタッフがご案内いたしますので、楽器体験受付に集まってください。ヴァイオリンのところではボーイングの軌跡が分かるよ。(協力: ボーイングビジョン *First Four Notes*)

気軽にトライ!

a) 11:10~
11:30

指揮者体験コーナー (要整理券)

整理券は当日券窓口にてお配りします。

- a) b) 10:30配付 (計20枚)
- c) d) 11:30配付 (計20枚)

指揮に挑戦する
姿を応援してね!

b) 11:40~
12:00

c) 12:25~
12:45

d) 12:55~
13:15

- 先生 松川智哉(指揮者)
- 第1ヴァイオリン 吉武由夏(シティ・フィル)
- 第2ヴァイオリン 加藤綺乃(藝大修士)
- ヴィオラ 佐藤まり子(大阪フィル)
- チェロ 福本真琴(藝大フィル)

① 11:30

小ホール ミニ・コンサート

0歳からご入場いただけます

4歳からご入場
いただけます

11:45
集合
終了予定13:00

ゲネプロ公開

最終リハーサルの様子をご覧いただけます。
自由席(スタッフがご案内いたします)。

② 12:15
③ 13:00

小ホール ミニ・コンサート

0歳からご入場いただけます

※ゲネプロ公開にお入りいただくと、12:15からの回には間に合いません。お子様と一緒に小ホールのミニ・コンサートがおススメです!

小ホール

オーケストラ・メンバーによるミニ・コンサート

① 11:30~12:00

日本フィル・メンバーによる弦楽四重奏

- ヴァイオリン 田村昭博、武田桃子
- ヴィオラ 松澤雅菜 ●チェロ 久保公人
- モーツァルト: 《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より「第1楽章」
- アンダーソン: プリンク・プランク・ブルンク / 踊る子猫
- モーツァルト: キラキラ星変奏曲
- ロジャース: 《サウンド・オブ・ミュージック》メドレー

初めての試み

アンドロイドのスマートフォンをお持ちの方は実況中継を受信していただけます。小ホールロビーにてアプリをダウンロードの上、ご入場ください。

Android4.4 以上が対象となります。(協力: Zimaku ↑)

※コンサートホールではスマートフォンなどの電子機器の電源は切っていただくことになっていますが、この回は特別に特別なご許可をいただき、スマートフォンの電源を入れたままご鑑賞いただけます。本日限定の①だけの初めての試みです。

② 12:15~12:45

神奈川フィル・メンバーによる木管五重奏

- フルート 江川説子 ●オーボエ 久保一麻
- クラリネット 齋藤雄介 ●ファゴット 石井淳
- ホルン 坂東裕香

ドレミの歌

♪楽器の音を聴いてみよう!

ユー・レイズ・ミー・アップ
ハウルの動く城より「人生のメリーゴーランド」
ポーランド民謡: クラリネット・ホルン
大きな古時計 / 中村八大: 「笑点」のテーマ
スタジオ・ジブリメドレー

③ 13:00~ 13:30

ニューシティ・メンバーによる金管五重奏

- トランペット 守岡未央、小野美海
- ホルン 根本めぐみ ●トロンボーン 渡辺善行
- チューバ 本間雅智
- ウィリアムテル序曲 / 戦いの組曲
- 聖者が街にやって来た / 手遊び唄メドレー
- となりのトトロメドレー

コンサート

オーケストラの日祝祭管弦楽団

14:00
開演
客席開場13:30

- 指揮 藤岡幸夫
- ヴァイオリン イム・ジヨン
- チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲
- モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲
- レスピーギ: 交響詩「ローマの松」

チケット

S: 完売 A: 2,000円 B: 1,000円

※コンサートは小学生からご入場いただけます。
※当日券は大ホールロビー入口にてお求めいただけます。

首都圏

13 楽団が 集結!



1 NHK交響楽団

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

創立1926年 首席指揮者: パーヴォ・ヤルヴィ



NHKホールとサントリーホールで年に54回行う「定期公演」を活動の中心に、全国各地で年間約120回コンサートを行っています。また「大河ドラマ」テーマ曲や「名曲アルバム」など放送のための演奏でも活躍しています。

コンサートに行ってみよう!

夏だ! 祭りだ!! N響ほっとコンサート

2018年8月5日(日) 15:00開演 NHKホール

指揮者: 熊倉 優 ソリスト: 上野 耕平(サクソフォーン) 曲目: ジョン・ウィリアムズ: 映画「スター・ウォーズ」-メイン・タイトル / プリテン: 青少年の管弦楽入門 / ミヨー: スカラムーシュ 他

2 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立1970年 常任指揮者: 川瀬 賢太郎



神奈川フィルは、神奈川県全域を中心に幅広い活動を続けています。子どものためのコンサートも各地で好評を得ており、次代のオーケストラファンを増やしていく取り組みを積極的に行っています。常任指揮者川瀬賢太郎を中心に情熱的なプログラムとSNSを中心とした新しいメディアにも意欲的に取り組む神奈川県を代表するオーケストラです!

コンサートに行ってみよう!

定期演奏会 みなとみらいシリーズ第339回

~神奈川フィルで聴く マーラー最後の交響曲~

2018年5月19日(土) 14:00開演 横浜みなとみらいホール

指揮者: 沼尻 竜典 曲目: マーラー: 交響曲第9番二長調

3 藝大フィルハーモニア管弦楽団

Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo

創立1898年 首席指揮者: 高関 健



東京藝大に所属するプロ・オーケストラで、定期演奏会、メサイア、第九、教育面では藝大生の演奏経験拡充に貢献しています。前身の旧東京音楽学校管弦楽団は、「運命」「第九」「悲愴」などを本邦初演してきました。

コンサートに行ってみよう!

藝大フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会(藝大定期第387回)

2018年6月8日(金) 19:00開演 東京藝術大学奏楽堂

指揮者: 山下 一史 ソリスト: 植村 太郎(ヴァイオリン 藝大フィルソロ・コンサートマスター) 中木 健二(チェロ) 曲目: ブラームス: 悲劇的序曲 作品81 / ブラームス: ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 作品102 / シューマン: 交響曲 第1番 変ロ長調 作品38「春」

4 新日本フィルハーモニー交響楽団

New Japan Philharmonic

創立1972年 音楽監督: 上岡 敏之



「一緒に音楽をやろう!」と指揮者・小澤征爾のもと創立。97年よりすみだトリフォニーホールが本拠地。下町のオーケストラとして演奏会だけでなく学校や施設などで地域に根ざして幅広く演奏活動をしています。

コンサートに行ってみよう!

定期演奏会ルビー<アフタヌーン コンサート・シリーズ>第15回

2018年5月18日(金)、19日(土) 14:00開演 すみだトリフォニーホール

指揮者: ジョアン・ファレッタ ソリスト: 山下 洋輔* 曲目: パーバー: 交響曲第1番 op.9 / ガーシュウィン: ピアノ協奏曲 へ調* / カーニス: ムジカ・セレスティス / コーブランド: バレエ組曲「アラバチアの春」

5 千葉交響楽団

CHIBA SYMPHONY ORCHESTRA

創立1985年 音楽監督: 山下 一史



千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラです。音楽監督の山下一史と「おらがまちのオーケストラ」を掲げ、県民が誇れるオーケストラに挑戦し、千葉県各地で演奏会を開催して音楽の素晴らしさを伝えています。

コンサートに行ってみよう!

第103回定期演奏会「ロマンへの誘いI」

2018年5月26日(土) 14:00開演 千葉県文化会館 大ホール

指揮者: 山下 一史 曲目: ワーグナー: ジークフリート牧歌 / R. シュトラウス: 交響詩「死と変容」作品24 / リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」作品35

6 東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

創立1946年 音楽監督: ジョナサン・ノット



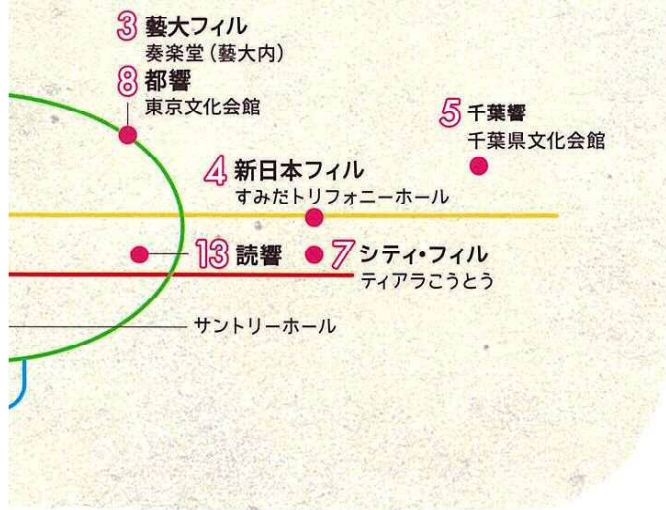
川崎市フランチャイズオーケストラとして、ミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点として活動。新潟市、八王子市とも提携し地域活動・育成プログラムなどを積極的に展開。新国立劇場のレギュラーオーケストラ。「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も好評。

コンサートに行ってみよう!

川崎定期演奏会 第65回

2018年4月15日(日) 14:00開演 ミュゼ川崎シンフォニーホール

指揮者: ジョナサン・ノット 曲目: マーラー: 交響曲第10番からアダージョ / ブルクナー: 交響曲第9番 二短調 WAB109



7 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

TOKYO CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA
創立1975年 常任指揮者: 高関 健



江東区の下町を拠点に活動しているオーケストラです。団の性格はとても明るくまっすぐで、活気と音楽愛に溢れた環境で日々活動しております。若手奏者も多く入団し、ますます勢いに乗る「東京シティ・フィル」に、どうぞご期待ください。

コンサートに行ってみよう!

第315回定期演奏会
2018年5月9日(水)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
指揮者: 高関 健(常任指揮者) ソリスト: 清水 和音 曲目: ムソルグスキー: 交響詩「はげ山の一夜」(原典版) / ニールセン: 交響曲第6番「素朴な交響曲」 / ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番

8 東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra
創立1965年 音楽監督: 大野 和士



東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立。大野和士が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務め、2018年4月より首席客演指揮者にアラン・ギルバートが就任する。

コンサートに行ってみよう!

第854回定期演奏会 Cシリーズ
2018年4月19日(木)14:00開演 東京芸術劇場
指揮者: 大野 和士 曲目: リムスキー=コルサコフ: 序曲《ロシアの復活祭》op.36 / ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」 / チャイコフスキー: 交響曲第3番ニ長調op.29《ポーランド》

9 東京ニューシティ管弦楽団

Tokyo New City Orchestra
創立1990年 芸術監督: 内藤 彰



定期演奏会、ファミリーコンサートなど主催公演のほかオペラ、バレエ、レコーディングと幅広く活動している。ツィンメルマン他著名な音楽家や、ステイング、水樹奈々など、ポップス界のアーティストとの共演も数多い。

コンサートに行ってみよう!

第1回練馬定期演奏会(第118回定期演奏会)
2018年6月9日(土)14:00開演 練馬文化センター大ホール
指揮者: 内藤 彰 / 神津 善行 語り: 中村 メイコ / 神津 カンナ / 神津 はづき 琵琶: 坂田 美子 曲目: ファンパーディング: 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲 / 神津 善行: 音楽物語「傷ついた渡り鳥」 / リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シエラザード」作品35

10 東京フィルハーモニー交響楽団

Tokyo Philharmonic Orchestra
創立1911年 名誉音楽監督: チョン・ミョンファン



東京フィルは今から100年以上前に生まれた日本最古のオーケストラ。オペラやシンフォニーを含む年間400以上の公演で演奏し、テレビやラジオを通じて日本全国の皆様にも演奏をお届けしています。首席指揮者はイタリア出身の天才アンドレア・パッティストーニ。

コンサートに行ってみよう!

第117回東京オペラシティ定期シリーズ
2018年5月10日(木)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
指揮者: チョン・ミョンファン(東京フィル名誉音楽監督) ソリスト: フロレスタン(テノール): ペーター・ザイフェルト/レオノーレ(ソプラノ): マヌエラ・ウール/ドン・フェルナンド(バリトン): 小森 輝彦/ドン・ピツァロ(バリトン): ルカ・ピサローニ/ロッコ(バス): フランツ=ヨーゼフ・ゼーリヒ 他 合唱: 東京オペラシンガーズ 他 曲目: ベートーヴェン: 歌劇「フィデリオ」(演奏会形式)

11 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

TOKYO UNIVERSAL PHILHARMONIC ORCHESTRA
創立1973年 常任指揮者: 松岡 究




ユニフィルは創設の1973年より約800万人を超える青少年にオーケストラの響きを届け、又数多くのオペラ公演を経て「歌心のあるオーケストラ」、「未来からの使者たちへ」を掲げて演奏活動を行っています。

コンサートに行ってみよう!

創立45周年記念・第37回 定期演奏会
2018年9月24日(月祝)13:30開演 大田区民ホール・アブリコ
指揮者: 松岡 究 ソリスト: 谷 明美(ソプラノ) / 松原 友(テノール) / 青山 貴(バリトン) / 関山 幸弘(トランペット)* 曲目: ハイドン: 「天地創造」 / ハイドン: トランペット協奏曲 変ホ長調*

12 日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra
創立1956年 首席指揮者: ピエトリ・インキネン



日本フィル(今年で創立62年)は、オーケストラ・コンサートの他、「ワークショップ(教育プログラム)」や「九州公演・杉並区等での室内楽(地域活動)」、「被災地支援活動(訪問回数230回以上)」にも力を入れています。

コンサートに行ってみよう!

第223回サンデーコンサート
2018年4月15日(日)14:00開演 東京芸術劇場
指揮者(&ヴァイオリン): ザハール・ブロン ソリスト: 服部 百音 曲目: モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲 / バッハ: 2挺のヴァイオリンのための協奏曲 / チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲(ヴァイオリン独奏: 服部 百音)

13 読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra
創立1962年 常任指揮者: シルヴァン・カンブルラン



1962年に読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。サントリーホール、東京芸術劇場などで8つのシリーズを開催中。日本テレビの「読響シンフォニックライブ」の放送も親しまれている。

コンサートに行ってみよう!

第207回土曜マチネーシリーズ
2018年4月28日(土)14:00開演 東京芸術劇場コンサートホール
指揮者: アジス・ショハキモフ ピアノ: ガブリエラ・モンテロー 曲目: ムソルグスキー(リムスキー=コルサコフ編): 交響詩「はげ山の一夜」 / ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18 / チャイコフスキー: 交響曲 第5番 ホ短調 作品64

オーケストラの日祝祭管弦楽団
最大編成 ☆は首席奏者

三井理世 フリー	濱仲陽香 フリー	天野佳和 東響	福島喜裕 日本フィル	遠藤 功 日本フィル	☆エリック・バケラ 日本フィル							
					ティンパニ							
田中雅樹 新日本フィル	庄司雄大 響大フィル	平木 仁 シティ・フィル	松田優大 名古屋フィル	☆佐藤友紀 東響	☆柴田 晃 東響	井口有里 都響	志藤康充 ニューシティ	佐藤和彦 新日本フィル				
熊井 優 神奈川フィル	☆今井仁志 N響	藤井春香 フリー	楠木 慶 日本フィル	近藤千花子 東響	☆金子 平 東響	☆長 哲也 都響	前関祐紀 東響	大内秀介 日本フィル				
					トランペット							
松井久子 日本フィル	多田直子 日本フィル	吉岡次郎 千葉響	大久保成美 名古屋フィル	☆斉藤和志 東京フィル	☆本多啓佑 シティ・フィル	鈴木純子 神奈川フィル	和久井仁 N響	テューバ				
					クラリネット							
小林裕子 日本フィル				フルート				丸山葉津紀 松永 遼				
チェレスタ	前野亜矢子 ユニフィル	田口史織 千葉響							多田将太郎 加藤舞衣			
					ホルン				重井吉彦 小林 鴻			
ハーブ										バンド (トロンボーン)		
ピアノ										バンド (トランペット)		
					オーボエ				空住素子 フリー			
					オーボエ				オルガン			
浜田慶子 シティ・フィル	大貫聖子 日本フィル	高階久美子 ニューシティ	中津留果己 シティ・フィル	大塚杏奈 ニューシティ	清岡優子 響大フィル	小川泰則 ユニフィル	阿相道広 シティ・フィル	望月直哉 ニューシティ	海老澤洋三 千葉響	松隈崇広 神奈川フィル	青山幸成 ニューシティ	
					クラリネット				成澤美紀 日本フィル	蓮池 仁 シティ・フィル		
					フルート				岡本 潤 N響	鈴木優介 日本フィル		
					2nd ヴァイオリン				☆山崎 実 シティ・フィル	濱島嘉人 新日本フィル		
					ヴァイオリン				コントラバス			
小川亜希子 都響	荒巻美沙子 千葉響											
宮澤豊子 都響	寺田久美子 ニューシティ											
西川玲子 神奈川フィル	古賀 恵 シティ・フィル	野尻弥史矢 シティ・フィル	九鬼明子 日本フィル	川口亮史 都響	野村幸生 神奈川フィル	壺野良史 都響	只野晋作 神奈川フィル	瀧本哲彦 神奈川フィル	山本 純 仙台フィル	三上賢一 ユニフィル	竹村明希子 響大フィル	
					1st ヴァイオリン							
					ヴァイオリン							
中谷郁子 日本フィル	酒井敏彦 N響	田中雅子 都響	田中 光 名古屋フィル	伊部祥子 仙台フィル	☆扇谷泰朋 日本フィル	香月圭佑 シティ・フィル	☆桑田 歩 N響				中川裕美子 日本フィル	春木英恵 千葉響
					チェロ							
					指揮							
					指揮							
					ヴァイオリン							
					ヴァイオリン							
					ヴァイオリン							

オーケストラの日2018首都圏実行委員会

実行委員長：高橋勇人(日本フィル) 副実行委員長：石井康(N響)、桐原美紗(東響)
実行委員：遠部知重(神奈川フィル)、堀越博(響大フィル)、小野聡美(新日本フィル)、新藤誠(シティ・フィル)、阿部野二(都響)、青木勝弘(ニューシティ)、大久保里香、大谷絵梨奈(東京フィル)、宇佐美豊(ユニフィル)、高西俊一(千葉響)、根本晴男(都響)
インスペクター：鐘形昌平(神奈川フィル) ライブリアン：経方彩子(シティ・フィル)
ステージマネージャー：阿部敏子(日本フィル)、森岡大智(日本フィル)、相澤雄介(フリー)、深根一徳(フリー)、小野口豊大(フリー)

コンサート |

藤岡 幸夫

指揮者

SACHIO FUJIOKA



英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。「サー・チャールズ・クロウズ記念演奏賞」を特例で受賞。1993年BBCフィルの定例演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価され、翌1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。以降ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル等数多くの海外オーケストラに客演。2006年オウエド・ド・ラ・メット「ねじの回転」でスペインにオペラデビュー。その年の同劇新演出作品のベストパフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに輝き、2009年にR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び風光を浴びた。2016年にはブリュッセルでA.デュメイ、V.アファナシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマラーの第5交響曲で客演、随興指立の大成功を取った。マンチェスター管内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者。毎年40公演以上を共演し、2018年で19シーズン目を迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得ている。テレビ、ラジオへの出演も多く、楽団の立ち上げに尽力。同管弦楽団と共に出演中のBSジャズ「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜23:00~4月からは毎週土曜23:30~)は、現在放送4年目の人気番組となっている。滋賀県長浜市文化観光大使。2019年4月に、東京シティアール音楽祭指揮者に就任する。公式サイト http://www.fujioka-sachio.com/

イム・ジョン

ヴァイオリン

JI YOUNG LIM



2015年ベルギー・エリザベト王后国際音楽コンクールにて優勝。副賞として日本音楽財団よりストラディヴァリウス1708年製ヴァイオリン「ハギンス」を次期コンクール開催までの4年間貸与されている。1993年ソウルに生まれ、7歳でヴァイオリンを始める。建川音楽総合学校(同文大附)にてキム・ナムユン教授に師事し、現在はドイツのクロンベルクアカデミーで研鑽を積む。2013年ヨーロッパ国際コンクールで優勝した他、インドアパボリス、モントリオール国際音楽コンクール、アン・マルド国際ヴァイオリン・コンクール等、数々の国際コンクールに入賞。これまでに日本、アメリカ、カナダの他、ドイツ、スイス等のヨーロッパ諸国でコンサートツアーを行っている。また、国際音楽祭にもたびたび招待され、マクシム・ヴェンゲーロフ、ジョエル・スミルノフ、原由幸一師等、著名なヴァイオリニスト、指揮者との共演を重ねている。2015-16年シーズンは、ベルギー・エリザベト王后国際音楽コンクールの企画による世界ツアーを行ったほか、NHK交響楽団と共演した。2017年7月アーク・シクシクからモーツァルトとベートーベンのソナタを収録した初のCDがリリースされた。

使用楽器 日本音楽財団保有
ストラディヴァリウス 1708年製ヴァイオリン「ハギンス」
このヴァイオリンはかつて、有名な楽師ニコロ・ヴィオームが所有していた。その後、イギリスの天才学者であるウィリアム・ハギンス(1828~1910)が、1890年頃ウィーンの職人からこの楽器を購入し、運搬していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色紙も紙や皮で修繕が施されている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリザベト王后国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に贈呈して次のコンクールまでの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。(日本音楽財団ホームページ https://www.nmf.or.jp)

飯田 有紗

司会

ARISA HIDA



東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。同大学院修士課程修了。Macquarie University(シドニー)遠征経験修士課程修了。クラシック音楽ライターおよび音楽関係の翻訳(英語)として活動を開始。雑誌、書籍、楽譜、CD、コンサートプログラムなどの執筆・翻訳のほか、音楽イベントでの司会や教育イベントやワークショップのファシリテーター、セミナー講師、演奏の仕事に従事し、クラシック音楽の普及にまつわる幅広い活動をおこなっている。クラシック音楽専門ラジオ局OTTAVA編集プレゼンター。NHKのTV番組「ららら」クラシックやNHK-FM「あなたの知らない作曲家たち」に出演。



春が訪れ 桜が咲いて 音楽が始まる 上野の森に
東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森 2018-
東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りとして
3.16Fri.-4.15Sun.
明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、春の美しい時期に1か月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術展・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」・無料の小さなコンサート「桜の前の音楽会」など、約150公演を開催いたします。桜が咲きほころぶのと同時に、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる。そんな「東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2018-」が東京上野の春を美しく彩ります。
東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2018- は「Beyond2020プログラム」として延期されています。

曲目解説 - 飯田有紗 -

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

オーケストラの魅力をたっぷりお楽しみいただく今回のコンサート、最初にお届けするのはヴァイオリン協奏曲です。オーケストラ、指揮者、そしてソリスト(独奏ヴァイオリン)の3者が、ときに対話をするように、ときに一体となって音楽を作り上げていきます。ビョートル・ワグナー・チャイコフスキー(1840~93)の名は、「白鳥の湖」や「くるみ割り人形」などの有名なバレエ音楽でご存知の方も多いでしょう。心打つメロディ・メロディーであり、華やかなオーケストラ・サウンドを生み出した、ロシアを代表する作曲家です。ヴァイオリン協奏曲二長調は、チャイコフスキーが37歳のときに完成させた作品です。現代こそ、ペートル・ヴェーン、ブラームス、メンデルスゾーン協奏曲と並び、「4大ヴァイオリン協奏曲」の一つとして人気の高い作品ですが、作曲された当初は周囲からの理解をなかなか得られなかったそうです。チャイコフスキーは弟のヴァイオリニストに相談しながらこの作品を書き進めましたが、出来上がってあまりに演奏が難しい曲となったため、その弟からは初演を断られてしまいました。さらに当時の有名なヴァイオリニスト、レオポルト・アウアーからも「演奏不可能だ」と言われてしまいました。ようやく3年後に初めて演奏されましたが、当時としてはあまりに斬新な響きに驚いていたため、評論家からは激しく批判もされました。力強くドラマティックな曲線は、同時代の人々にはあまりに受け入れられるのが難しかったのでしようが、現代の私たちに大きな感動を与えてくれます。曲は3つの楽章で構成されています。第1楽章は堂々たるテーマが胸を熱くさせてくれます。第2楽章はゆったりと艶やかなヴァイオリンの響きに身を任せましょう。続いて演奏される第3楽章は元気がいっぱい、リズムカナルなフィナーレです。

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲

驚くほどワルツ・ファンク・アマデウス。モーツァルト(1756~91)のオペラの序曲を聴いていただきます。序曲とは、オペラの幕が開く前にオーケストラだけで演奏する音楽のこと。これから始まる歌劇全体の雰囲気や気分の音楽です。「フィガロの結婚」は、モーツァルトが30歳で作曲した明るく楽しいオペラ。伯爵に仕える側用人フィガロと、小間使いのスズナナはもともと結婚することになっています。ところが、女好きの伯爵アルマヴィーヴァは、スズナナを誘惑して自分のものにしようとしているではありませんか。フィガロと伯爵夫人たちはみんなアルマヴィーヴァを懲らさねようとするが……。最後はすべてよくおさまるハッピーエンドの「フィガロの結婚」は、ドタバタ人間模様を通じて、モーツァルトが貴族社会をユーモラスに風刺したオペラとしても知られ、現代でもよく上演される人気作の一つです。

レスピーギ：交響詩「ローマの松」

おしまいはイタリアの作曲家オットー・レスピーギ(1879~1936)の作品です。オペラ文化がとても盛んなイタリアにおいて、器楽曲のレパートリーを充実させたのがレスピーギです。彼の手にかかると、オーケストラは色鮮やかなパレットのようにカラフルな響きを放ちます。とりわけ、古希ローマの風物詩を描いた交響詩「ローマの貴族」「ローマの松」「ローマの祭り」は「ローマ三部作」として広く愛されており、オーケストラの魅力を存分に味わえる曲です。1924年に完成された「ローマの松」は、ローマの街にたたずむ4本の松をテーマに作曲されています。長い年月を経て松の木が見守ってきたローマの姿を、オーケストラの有機的な響きを響かせます。曲は4部構成ですが、切れ目なく続けて演奏されます。第1部「ボルゲーゼ荘の松」はさびやかな序奏で始まり、ローマ中央の広闊の松の周りで子ども達がにぎやかに遊ぶ様子が描かれます。突如静まり返り、第2部「カクコンツ付近の松」へ。古代ローマの初期シラク時代へとタイムストップします。金管楽器が中世の羅威の鐘を奏で、人々の祈りの叫びを聴かします。ピアノの揺れ動くようなパッセージから第3部「ジョニコの松」です。ローマ西側の丘に立つ松が、清月の夜に浮かび上がる情景です。クラリネットが夜想曲のような美しいメロディーを奏し、後半はナイチンゲールの鳴き声がオーケストラと響き合います。やがて遠くから行進曲が聞こえてくると、第4部「アンピア街道の松」です。アンピア街道とは古代ローマの造幣造路。高らかに金管楽器が響き響き、行進曲も盛大に盛り上げます。雄大な行進曲でクライマックスを迎え、曲が締めくくられます。

日本音楽財団は、創立20年を超えた1994年より、クラシック音楽を通じた国際親善として楽器貸与事業を開始いたしました。ストラディヴァリウス19番、ガムル・デル・フェス2番を保有し、世界を舞台に活躍する一流の演奏家や若手有才能演奏家に、国際を問わず無償で貸与しています。また、世界的な文化交流とこれら楽器の次世代へ継承するための、習熟者として貸与に努めています。近年音楽財団の事業は、日本財団の支援により発展しています。

私財非公用の原則(私財非公用の原則)に基づき、著作権法に規定する、著作権者の同意なく複製、貸与し私用目的のために複製する場合は、複製料を支払って貸与いたします。その複製料はNPOの収入額、あつしの上乗せされています。支払われた複製料は80%を貸与者に分配されるほか、一部は共通の資金として著作権に関する意思調査や著作権の創作の普及及び普及に資する事業を助成するために使われています。



あの日が目に浮かぶ 音楽がある

著作権をまもることは、未来に音楽をつないでいくこと

記憶に残るメロディや歌詞。心をふるわす音楽に出会った喜び。

音楽とその想いが未来へずっとつながるように。

私たちJASRACは、著作権をまもり、音楽を生み出す作詞家・作曲家などの
創作活動をこれからもしっかりと支えていきます。

JASRAC[®]

一般社団法人 日本音楽著作権協会

〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12 TEL (03) 3481-2121 (大代表)

<http://www.jasrac.or.jp>